

# The Principles of Camouflage

by Reginald Ryves

中川健二氏

茲に御話申しますのは英國の Reginald Ryves 氏の Report に就てであります  
Report の前半は主に動物に對する Camouflage の研究で氏は 1905 年に之れを發表し  
後半は 1920 年に發表したるもので戦時に於ける Camouflage の利用に就て述べてある  
Camouflage の principle には次の三つがある

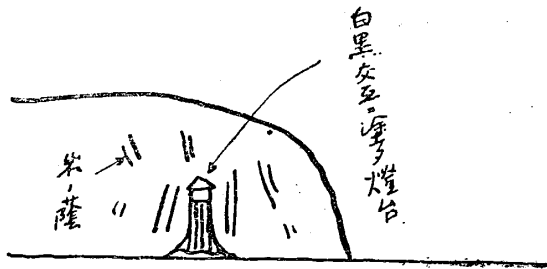
- (1) Back ground と同色にする方法
- (2) 其處にある物と紛らしく見ゆる様にする方法
- (3) Back ground と harmonize して見へなくする方法

であるが (1) の Back ground と同色の方法は Back の色が變る毎に着色を變るを要する故に Camouflage としては良好でない、然かし動物の内には Back ground の色が變れば直ぐ色の變る Camerion がある。(2) の他物とまぎらわしくする方法は其の場所にあたり得さうな物に似た形態をとるもので吾人の欲する Camouflage としては重要なものではない。(3) の方法は色彩によるもので色彩に bright の部分と dark の部分を作り Back ground に Harmonize せしめ見へぬ様にするこれは Camouflage として進んだ方法である

Starling (椋鳥の一種) は身體が縞になり居り、10 ft. 離れると分らなくなる近くに居つても色彩が bright の爲めに見難いことがある、縞馬等も之の例に近い、Magpie (鶺鴒)、日蔭日向共によく見へなくなる虎は縞が黒と黄と交互になり居るゆへ葦の中に居るときは葦と黄色とが Harmonize して黒い筋は back ground の様に見へ Camouflage の目的を達する 第 (3) の方法の適例である

動物は一般に脊が黒く腹部が白く或は色が薄くなつて居る之れは氏の説では重要な事で脊は日光を受ける故 Bright となり腹部は蔭となる故に白くしておけば蔭で暗くなる故全體として見分け難くなる要するに Camouflage には Bright Contrast を保つことが必要であるといふ大事な結論に達する

燈臺の實例：—



英國の或る「チョーク質」の岬に於ける燈臺が黒白に塗られ其れが光線の工合で強い岩蔭を生じて居つた Back ground に Harmonize した爲めに晝間こゝを通過した船の運轉士がこれを見出し得なかつた、若しこの燈臺が全部白色であつたら大に見

つけ良かつたであらう

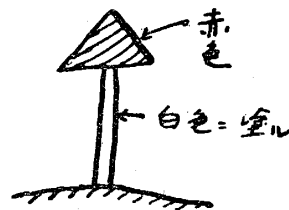
測量用 Pole の例：—

測量用 Pole は赤白交互に塗られて居る故に Back ground により見悪いことがある故に之の棒は一色に塗るか或は尙よくするには上半分を赤に下半分を dark green に塗るがよい

自動車用 Signal の例：—



(A)



(B)

郊外に立てられた自動車用 Signal も A 圖の全部赤色に着色したるものはよく見るを得るも B 圖の如く上部のみを赤色に塗る時は柱が附近の壁又は瓦斯燈の棒等と Harmonize して見へ難い。

兵隊の場合：—

Scout に出る場合の服装は Contrast の強きものを用ふ即ち眞面目な制服で出かけるより假裝舞踏會の服の様なものの方が却つて良いことがある近くで Contrast の強いものも遠くでは Neutral Color となる故に色々混合することによつて目的を達する、故に單獨の場合には赤青等の布を附け隊をなす場合には赤青等の服装をしたるものを交へるが良好である

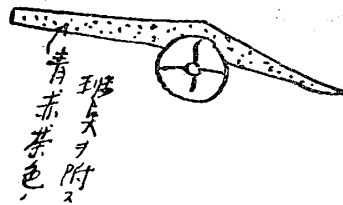
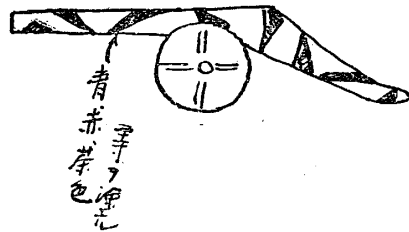
船の場合：

船體の塗り方により形状が色々に變る上部を濃く下部を Bright にする方がよく又極めて粗く塗る方が良好である

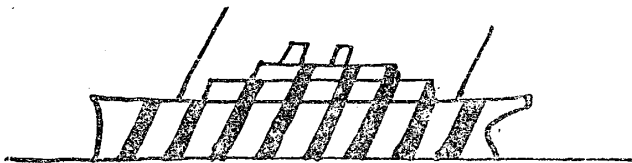
其他大砲を塗り方で短かく見せること、馬は Uniform Colour のものは悪く色々の Colour のものがよい、又長靴なども色の異なるものがよい

之等の事は 1905 年に氏が發表せしもので今度の戦争に於て之等の Camouflage の Principle は廣く用ひられ大體に適當であつた事が認められた

即ち軍馬などは色々のものを混合し兵士の帽子の光るを汚れたる布にて蓋ひ Back ground に似せ、大砲は圖の如く赤青等の色で以て Back ground に harmonize させ



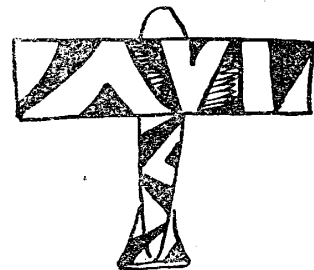
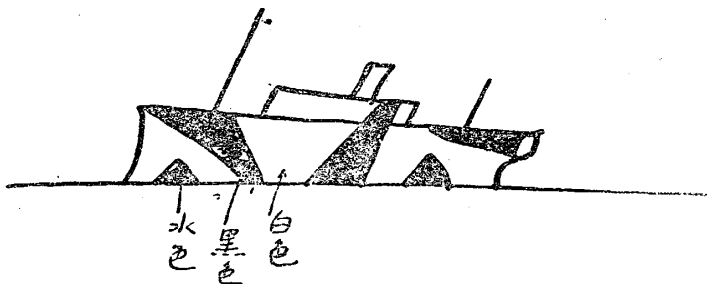
船には色々の着色が施された



船の着色は細かいのは近距離で已に Neutralize するから有効でない

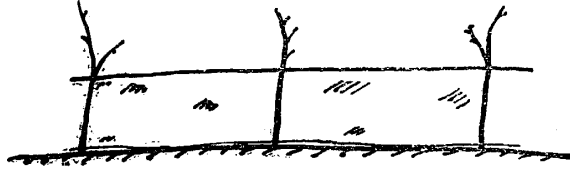
聯合國側の飛行機：—

Back ground と harmonize し形を隠す爲め白青茶色等を塗り有效なり



尚ほ其他敵の眼をかすめて兵を動す場合に次圖の如くの道路を布で蔽ふことがあるが全部を布で蔽て見た處が成績が悪かつた、だから之を改良し道路に沿つて針金を引き所

々に布を附し一部は Back ground が誘して見る様にしたところが却て軍隊の動くのを見分けることが困難であつた



通路  
布で  
散す

其他大砲の蔭を Camouflage する方法も考へられて居る、家屋の如きも屋根の角を丸く塗り築造物と云ふ觀念を與へず或は形狀を變へることが出来る。(終)

